

青森高校同窓会懇親会ご挨拶

青森高校同窓会会員の皆様、今晚は！ ただ今ご紹介頂きました同窓会長の沼田廣です。昭和44年卒業、19回生です。このたび諸物価値上がりのため懇親会入場券を再値上げせざるを得ませんでしたが、これまで同様たくさんのご参加をいただき心より感謝申し上げます。

さて、青森高校はその前身の一つである青森県第三中学校が1900年（明治33年）に創立されてから今年で125周年を迎えますが、これまで、約42,000人の卒業生を輩出し、時空を超えて活躍しています。

同窓会の活動の一つとして、同窓生の中から講師を選び、在校生に対して毎年秋に講演会を行っています。直近では、青高38回生でJAXA（宇宙航空研究開発機構）の宇宙ステーションへの補給船「こうのとり」の運用開発責任者であった葛西徹さんを講師としてお迎えし「プロジェクトを成功させるために我々はどうあるべきか」と題して講演してもらいました。在校生に今後の進路や生き方を考えるうえで大きな刺激になったようです。このように卒業生には様々な分野でグローバルに活躍されている人材がたくさんいるということは我々同窓生の誇りであると思います。

また、トピックとして、今年2月15日には、八戸市で「八戸青高同窓会」が19回生の阿保民博会長の下、新たに結成されました。これまで、6つの支部がありましたが今回の八戸支部を加え7つの支部ができた訳です。これを機に全国の同窓会会員がさらに力を合わせて母校発展のために寄与していきたいものです。

終わりに際しまして、昨年から今回の懇親会開催の準備をしてきました当番幹事の青高51回生の川村和司(たかし)代表幹事、佐藤広野(こうや)実行委員長はじめ幹事団の皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。

この後、恩師、旧友との再会を喜ぶと共に時間の許す限りご懇談いただきたいと思います。本日は、ご参加いただき有難うございます。

令和7（2025）年8月9日

青森高校同窓会会長 沼田 廣